

浦

URAWA

和



浦和区の花 ニチニチソウ

12 2014
月号浦和区役所
浦和区常盤6丁目4番4号☎ 825・1111 (代表)
☎ 829・6233

文教のまち うらわを歩こう

文化の小径

中山道浦和宿を歩く

このコーナーでは、「浦和区文化の小径マップ」に掲載されている浦和区のみどころを、シリーズで紹介しています。



浦和区文化の小径マップは、浦和区コミュニティ課などで配布しています。



調神社と兎の神像 (浦和区岸町3丁目)



常盤公園 赤レンガ造りの門・堀 (浦和区常盤1丁目)

常盤公園から調神社まで

常盤公園は、昭和51年に浦和地方裁判所の跡地に開園された。その地には、江戸時代初期に徳川將軍家の鷹狩りの休泊所が設けられていた。裁判所当時の門から南に向かい、市役所通り、裏門通りを越えてそのまま進むと、まもなく右手に玉蔵院が見えてくる。玉蔵院は、優雅に咲くしだれ桜で知られるが、今頃の季節には木々が色づき、閑寂の世界を味わうことができる。

この玉蔵院通りから県庁通りを渡って左に進み旧中山道を右折する。しばらく進むと左手に調神社がある。調は「つき」と読み、月待信仰、兎に結びつくことされ、神社入口では一対の狛犬ならぬ兎の神像に迎えられる。毎年12月12日、調神社では「十二月まち」が開かれ、境内は縁起物の熊手を求める多くの人たちでにぎわいを見せる。